

チャレンジ工房News

第47号

平成27年2月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

ものづくりの絆市に参加してきました・・・

今月7日・8日の2日間、あまがさきキューズモールにて「ものづくりの絆市」があり当工房も2年連続で参加してきました。

絆市は、3年前から毎年秋頃より、地域活動支援センターや作業所などの障害者就労支援施設の職員を対象にしたオリジナル自主製品の開発や販売時のディスプレイなどに関する技術や知識のレベルアップを図る講座「モノづくりデザイン講座」の一つの実践形式の研修です。私たちにとっては日頃の工賃仕事の成果や、デザイン講座で学んできたディスプレイや接客方法などを披露する場でもあります。

当日は、尼崎市内を中心に10の作業所がチョコ・クッキーや雑貨などのバレンタインにちなんだオリジナルの製品を販売して、当工房もイラスト・デザインともに刷新した4月始まりのカレンダーや東北の作業所の物品に加え、バレンタイン用のポストカードを販売しました。

「このポストカード可愛い」「どのポストカードも可愛いからどれにしようかなあ」と訪れて頂いたお客さんより伺うことができ、嬉しいことに今回、絆市に持って行った40枚ほどのポストカードすべて完売することができました。

所員・スタッフともに絆市の一週間前までは来年度のオリジナルカレンダーの制作に追われていたので、あまりポストカードの生産に時間が取れなくて、多くの種類のポストカードを作ることができなかったことが少し心残りでした。

カレンダーも所員さんの親戚の方や知人の方に多く購入して頂きました。購入して頂いた方の中には、「私の家、痴ほう症のおばあちゃんがいて、このオリジナルカレンダーなら、その月々にちなんだ可愛いイラストが描かれているから、おばあちゃんでもその月や季節のことが分かると思うし、このカレンダーを通じて、おばあちゃんとの新たな会話も生まれてきそう」というお言葉も頂きました。

毎日、試行錯誤をしながらカレンダーやポストカードのデザインを考えたり、模索している私たちにとっては訪れてきてくれたお客さんの一言ひとことが何よりの励みになり、これからカレンダーやポストカードのオリジナルな自主製品

を開発・生産していく上で大きな活力になりました。

いつもは、福祉の集いや絆市などの販売会は私たちスタッフだけで参加することが多いのですが、今回はカレンダーやポストカード

を販売したこともあって当工房のイラストレーターAさんたち数名の所員さんたちにも参加してもらい、販売前のディスプレイなどの準備や販売の手伝いをしてもらいました。何か、今までよりも所員さんと私たちとの間にまとまりができたようでよかったです。

2月・3月の予定

2/7(土)～2/8(日) モノづくりの絆市

あまがさきキューズモール

10:00～16:00

※当日は、カレンダーやポストカードなどの当工房オリジナル製品に加え、東北障害者作業所の物品を販売しました。

3/7(土) うず潮祭り

大庄支所

10:00～13:00



所員Aさん作



地域の防災訓練に参加してきました…



先月の16日に成徳小学校にて、大庄地域の「1.17 忘れない防災訓練」があり、所員さんと参加してきました。

この防災訓練は、私たち兵庫県民にとって忘れることができない阪神大震災の発生日の1月17日前後に毎年、尼崎市内6地区に分かれて市内全域で一斉にされる防災訓練です。阪神大震災のことを決して忘れずに次世代の子どもたちに伝えていくと同時に、阪神大震災や東北の津波震災から学び得た教訓を活かし、近い将来発生すると考えられている「南海トラフ地震」に備えることを目的とした訓練です。

訓練当日は、地域住民の方々と訓練会場の成徳小学校付近で待ち合わせをして、訓練会場に向かい「地震が和歌山沖で発生し、尼崎に5mの津波が来る」という想定で校舎の3階に一時的に避難する「津波一時避難訓練」や消火訓練などがありました。

消火訓練では、地域の方や小学生の子供たちが「火事だ」というかけ声で訓練用の水消火器を的確に使う練習をしていました。

「津波一時避難訓練」では、例年のように消防士の方や地域の消防団の方数名で校舎の3階まで車いすごと担いで上がってもらいました。

消防士や消防団の方の中には、所員さんのお父様や顔なじみの消防士も方もおられたので、安心して訓練に参加することができました。

一緒に避難訓練をした近隣の保育園や小学生の子供たちも私の車いすを物珍しそうにみつめていました。

地域の方々や次世代を狙う子供たちに、この地域にも普通に障害者がいて、地震や津波などの災害時には同じ避難所に避難することを知ってもらうためにも、これからも地域の防災訓練や「うず潮祭り」などの地域のイベントには参加し続けていきたいと考えています。



工房の日々・・・ 障害者パソコン教室続けています

昨年の夏ごろから、当工房がもつパソコン研修機能を登録所員さん以外の尼崎市内の障害を持つ仲間に有効的に活用してもらいたいとの願いで障害者パソコン教室を開いています。4回・8回コースのパソコン教室や「他の作業所・事業所に在籍しているけれど、パソコンもマスターして社会復帰を目指したい・・・ 趣味の幅を広めてみたい」という仲間に向けて、登録所員さんの研修後の時間を活用して、有料(1回500円)でパソコン研修の場を提供しています。

「とてもパソコンなんて8回で覚えられないから続けて通いたい」と登録所員になって、そのまま続けてきてくれる人もいれば、パソコンの基本的な操作やテキストでの学習方法だけ覚えに来て、あとは自宅や通っている作業所で訓練の一つとして勉強している人と様々です。

やっぱり、私たち障害者が現在のIT社会の中で社会進出したり、情報力がある豊かな生活を営んでいくためには「パソコン」は必要な生活道具だと、私自身の生活や日々の工房での勤務を振り返り考えています。

市内の障害を持つ方で、少しでもパソコンに興味・関心がある人は、気軽に当工房にお問い合わせください。



3月から「インターネット教室」をはじめます・・・

- ・開講日 基本的に水曜日の午後 (詳しい日程などについてはお申し込み後、相談させていただきます)
- ・回数 4回 ・内容 インターネットのしくみ、アドレス入力、検索、利便性と危険性
- ・お問い合わせ先 地域活動支援センターパソコン工房チャレンジ 06-4981-8120 (電話&ファックス)